



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7 北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 渡部 裕幸

2014道本部春闘討論集会

すべての働くものの処遇改善

道本部は、1月10日～11日、札幌市・自治労会館5階大ホール、京王プラザホテル札幌で「2014国民春闘討論集会」を開き、130地方本部、単組・総支部292人(うち女性・23人)が参加した。(詳細は道本部HP「単組・組合員専用ページ」1/15付参照)

春闘方針では、雇用を点課題と位置づけ取り組み、生活改善にむけた基本賃金の引き上げを基本として取り組むことを提議した。また、人事院の「給与制度の総合的見直し」反対のたたかいを要求を掲げよう2014春闘の課題と展望」と題し講演した。江森さんは「従来のような春闘の取り組みでは、物価が上がって消費税も上がる中で賃金だけが下がりがちな現実がある」と今春闘についてふれ、「1%以上の賃上げを勝ち取らなければ物価上昇にも満たない賃上げとなる。ヘア・月例給の引き上げが何となく必要だ」と訴えた。

基本的な考え方を示し「全体の賃金ベースをどう引き上げるのかをしっかりと春闘期に出してほしい」と提起した。給与制度の総合的見直しは「国公は配分の問題だが地公にとっては水準の問題だ」と説明し、取り組みへの結果を要請した。

2日目は公開講座として開き、講座Iとして「労働法制の規制緩和にどう立ち向かうか」と題し、北海学園大学法学部・浅野高宏教授が講演した。

浅野准教授は、「労働法制の規制緩和が議論されている規制改革会議や産業競争力会議では労働者側の利益を代表するものがメンバーになっていない。労働者保護の観点から抜けている」と指摘した。

「労働組合運動の弱さが日本経済の『失われた10年』の元凶の一つ。古典的な『労働者の』取り組みへの回帰が経済にプラスに働く」と労働運動の役割を述べ、「公務職場では生産性をいかに回復させるかが労働者に求められる。労働組合が真面目に正規化・定数の拡大・生産性の向上をはかることが重要だ」と強調した。

今後、春闘方針は全道13地方本部で開かれる地方本部別春闘討論集会で議論を深める。その後1月30～31日の自治労本部中央委員会で意見反映・方針決定し、2月6日には道本部中央委員会で方針の確認を行う。しっかりと議論・意思統一して、当面する春闘に結果を強め正規・非正規を問わず、すべての働くものの処遇改善と給与制度の総合的見直しに反対するたたかいを強化しよう。

慌ただししい師走だった。特定秘密保護法、初の国家安全戦略会議、そして靖国神社参拜。政権与党と安倍政権の力の政治がそこにあった。政権に権力源泉の「力」を与えたのは、圧倒的多数の有権者が自公政権を選じた結果である。

朝風

第186回通常国会が1月から開かれる。自民党・安倍政権は集団的自衛権の行使を目論んでいる。改憲と戦争の出来る国づくりを狙う国会だ。多くの人が懸念している強行採決の特定秘密保護法。廃止・凍結に向け取り組もう。



全道から292人が参加し学習を深めた=1月10日、自治労会館

基調講演IIは、森本正宏・自治労本部労働条件局長が「自治労・2014春闘の課題およびポイント」と題し講演した。森本局長は「労働者全体に賃上げを促める運動が必要だ」と今春闘へ望む姿勢について触れたうえで、「今春闘で賃上げを勝ち取り、プラス勧告を出させて早期差額支給をさせる。給与制度の総合的見直しはしない」と訴えた。

1月10日、札幌市・ポールスター札幌で開かれた。あいはいはらくみこが参加した。中沢・連合後援会会長は「自民党の横暴にストップをかけて国民が期待する新しい政治をつくらなければならない。あいはいはらくみこが存分に国会で奮闘できるように引き続き支援を」とあいさつした。

「労働組合運動の弱さが日本経済の『失われた10年』の元凶の一つ。古典的な『労働者の』取り組みへの回帰が経済にプラスに働く」と労働運動の役割を述べ、「公務職場では生産性をいかに回復させるかが労働者に求められる。労働組合が真面目に正規化・定数の拡大・生産性の向上をはかることが重要だ」と強調した。

「労働組合運動の弱さが日本経済の『失われた10年』の元凶の一つ。古典的な『労働者の』取り組みへの回帰が経済にプラスに働く」と労働運動の役割を述べ、「公務職場では生産性をいかに回復させるかが労働者に求められる。労働組合が真面目に正規化・定数の拡大・生産性の向上をはかることが重要だ」と強調した。

「労働組合運動の弱さが日本経済の『失われた10年』の元凶の一つ。古典的な『労働者の』取り組みへの回帰が経済にプラスに働く」と労働運動の役割を述べ、「公務職場では生産性をいかに回復させるかが労働者に求められる。労働組合が真面目に正規化・定数の拡大・生産性の向上をはかることが重要だ」と強調した。

JICHIRO スケジュール	
1月	
28日(火)	第9回執行委員会(札幌市)
29日(水)	第3回拡大闘争委員会(札幌市)
30日(木)	自治労第146回中央委員会(～30日・東京都) 自治労結成60周年パーティー(東京都) 道本部OBL会総会(札幌市)
2月	
1日(土)	現業公企セミナー(～2日・札幌市) 女性部交流集会(札幌市) 女性部政治学習会(札幌市)
2日(日)	地方財政セミナー(～4日・東京)
3日(月)	第10回執行委員会(札幌市)
4日(火)	第118回中央委員会(札幌市)
6日(木)	道本部ホームページ
自治労北海道 ユーザー名:minnade 組合員専用ページは パスワード:danketsu2013	

原発のない北海道の実現を求める
「全道100万人」署名集約状況 ※1月15日現在

2月24日まで

163単組・総支部 77,457筆

「給与制度の総合的見直し」に反対する署名実施中!

◇取り組み目標 **組合員×5筆**

◇集約日 **2月14日(金)**

※集約した署名は3月5～7日のブロック別中央行動・交渉に持ち込みます!

地公三者 (全道庁労連・北教組) ・自治労道本部

独自削減を 停止・圧縮せよ!

地公三者は、1月28日を最大の山場に全組合員・家族署名、超勤点検・拒否などの戦術を展開し、15年におよぶ「独自削減の停止・圧縮」を求め、1月27日の最終交渉まで職場からたたかいを進める。

1月28日(火)
早朝1時間スト

1月27日(月) 12:05
道庁東側前庭
全道昼休み総決起集会

道本部青年部
春闘討論集

職場・賃金にこだわろう!

道本部青年部は、12月21・22日、札幌市・自治労会館で「道本部青年部春闘討論集」を開き、110単組・総支部287人(うち女性54人)が参加した。



全道から287人が参加した。分散会では多くの不安や不満の声が出された=12月21日・札幌市

1日目は、牧野前道本部青年部長が「2014春闘にむけて」と題し講演した。

牧野さんは「賃金とは労働力の再生産費。『青年部は『大胆な実践』と『丁寧な総括』をして、次につなげることが大切だ』と強調した。

その後の分散会では、「正規職員とほとんど仕事の内容はかわらないのに、処遇が大きく違う」といった臨時職員の声や「時間外が気づけば年間で1000時間を超えていた」「評価制度導入で賃金がある人もいるかもしれないが、誰がどう評価するのか不安」といった職場実態や不安・不満の声が多く出された。

2日目の全体討論では、「自分たちの賃金のことを考えるため、賃金リフトを活用した学習会を開いた」「独自要求アンケートを実施し、青年層ならではの職場環境・生活環境に対する意見や要望を募り、それを団体交渉で青年女性の独自要求として当局に提案した」

「部員一人ひとりの不満や不安を『ゆずれない要求』として確立することを目標に、年間闘争サイクルの出発点である今春闘で、今一度、労働組合の意義を確認し、組合運動は『やらされている』のではなく、『自分たち自身のためにやっている』という強い気持ちでたたかう」など全体で17本の

発言が出された。集会の最後に、瀧口青年部長が「運動を実践してきた仲間たちは、決して特別な人たちではない。一緒に頑張る仲間がいるから実践できた。中には仲間ではできない。一人ひとり、地道につくっていく。今春闘期の獲得目標である『職場・賃金にこだわろう!』と集約し、団結カンパニーで集会を終えた。

参加者の声

仲間にも伝えたい



五十嵐美穂さん
宗谷地本・浜頓別町職

分散会では、同じ業種でも時間外勤務の実態が大きく異なることや、別の職種が抱えている課題にふれることができた。交流することで気付くこ

の大切さを学ぶとともに、この経験を本集会に参加できなかった仲間にも伝えたい。



神山佑斗さん
釧根地本・標津町職

分散会をおして、自分の町でも独自要求をや

あいくみの国会だより



年明け早々なので、明るい話をとる物価の値上がりは、正月早々小思っていたが、さっぱり良い話を聞かなくて。年末年始にお世話になった皆さんの所へあいさつに伺う。将来像は示されないまま4月には消費税が値上げになるだろう。「特定秘密保護法案」の強行採決から始まり、この国の平和も危ない。すべて国民がこれらに、危機感を持って確保しているようである。しかし、視することが重要であろう。(1月7日東京にて)



長久保望さん
渡島地本・長万部町職

付くことができた。私の職場で現状の制度が維持されるよう、青年婦人部長として、仲間たちとともに、今後も引き続き、賃金を主とした学習会などを実践したい。

ろうきんなら 他行CD・ATM お引出手数料がすべて戻ります! 実質 0円! フルキャッシュバックサービス 夜間や休日、出張先のコンビニでも、ろうきんのカードは、お引出手数料が0円 生活応援バンク 0120-5-109-26 フリーダイヤル

総支部間交流会で情報交換



職場だより

宗谷管内の幌延町では毎年11月23日に幌延デーが開かれており、全道各地の単組から多くの仲間が集まっています。

全道から人が集まる機会ということで、今年も幌延デーの開催に併せ、全道庁労連青年部の支部間交流会を開き、宗谷・留萌・上川・空知の4総支部ならでの若々しいト

支部から合計19人が集まり、幌延デー終了後の23日から翌日24日にかけて、分散会・交流会・学習会を行いました。

分散会では、自己紹介から始まり幌延デー参加の感想や、各単組の活動や職場環境等の情報交換を行い、交流会では青年

一くも花が咲きました。翌日の学習会では全道庁本部の佐藤部長から、「賃金について」と題し昇給・昇格の仕組みについて給料表を見ながら分かりやすく講演してもらいました。

参加者からは、「とても良かった!また開催してほしい!」「新しいつなが

りが増えて良かった!」といった声があり、とても有意義な交流会となりました。(全道庁労連宗谷総支部・青年女性部長・和田裕章)



宗谷・留萌・上川・空知から19人が参加した総支部間交流会=11月24日

チャレンジ! チルドレン・ファースト

「子ども・子育て会議」アンケート調査に回答を

皆さんの住んでいる自治体では「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定にむけたアンケート調査はお済みですか。次は4月から6月にかけて、各施設に対して新制度による体系に移行するかどうかの意向調査が始まり、10月からは保育の必要性の認定作業を始めなければならぬことと考える「地方版子ども・子育て会議」は相当なペースで議論していく必要があると思います。各自自治体での議論状況はいかがでしょうか。

このような状況下でもなお、新たな民営化計画が打ち出される事例もあるようですが、一旦踏みとどまっていたら「市町村子ども・子育て支援事業計画」における位置付けという観点で議論して欲しいと切に願います。現在、自治労は全国の自治体単組に対して、地方版「子ども・子育て会議」の設置状況などについてのアンケート調査を行っています。ぜひ全単組からご回答いただきますようよろしくお願い申し上げます。

忙中余話

昨年12月に「エフアジャパンカンボジアの子どもたちを訪ねるスタディーツアー」に参加させてほしいとお願いしていた。理由は、戦争は誰にもない。安倍政権は戦争できる国づくりをすすめている。戦争は、私たちが身近な人の生命だけでなく、何の罪もない世界の人の生命まで奪ってしまっている。その責任が私たち日本人にもあることを踏まえ、安倍政権の暴走を止めなければならぬ。(引地圭太)